



ZC-YX/NXシリーズ ZC-D5000シリーズ ZC-D7000シリーズ

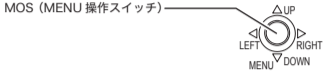
OSD操作説明書



1. カメラのOSD (設定画面) 操作

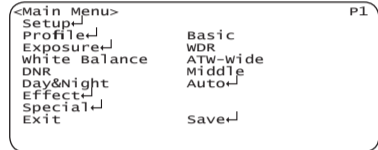
MENU 操作スイッチ (Menu Operation Switch,以下MOSと略す)によりOSDメニューを設定します。MOSを押し続けるとOSDメニューが表示されます。このMOSの操作で各種設定を行います。

- ・UP/DOWN/LEFT/RIGHT 方向にスイッチを倒すことでカーソルが移動し、項目を選択します。
- ・MOSを押して項目を決定します。



2. OSDメニュー構造と機能

メインメニュー



Setup

設置後この設定項目からカメラ設定を行います。このメニュー画面は、設置するときに必要なとされる設定項目をまとめています。環境によって、カメラモード・露出系の設定を行う場合は、Profile, Exposureメニューを設定します。カメラ画質やその他機能を設定する場合は、Effect, Specialメニューを設定します。

Profile

プリセット設定された4つのProfileを選択し、カメラ動作させることができます。また、2つのProfileを切替えることができます。切替え方法は、Day&NightのAUTO切替えと同時に、リモートで外部端子を制御(オープン/ショート)することで、カメラモードを簡単に且つダイナミックに切替え可能であるため、より質の高い監視を行うことが可能になります。

Exposure

カメラの露出関連の調整を行うメニューです。AE Modeは6つの設定から選択し、設定の変更と保存ができます。

White Balance

ホワイトバランスを設定します。
 ATW: 自動でホワイトバランスを調整します。(色温度調整範囲: 約2500K~10000K)
 ATW-Wide: より広い色温度範囲を自動調整します。(出荷設定)
 AWB: Push: (低色温度調整: 1800K以下、高色温度調整: 20000K以上) ホワイトバランスを自動調整した後保持します。明るい環境下で白紙などを撮像し、MOSを操作します。(調整したデータは電源OFFにしても保存しています。)
 Running: ホワイトバランス調整中に表示し、調整終了後はPush表示に戻ります。
 Manual: 手動でホワイトバランスを調整できます。

「AWB」を選択している場合、OSD画面を表示していない状態で、MOSを下方向に押し続けると、「AWB Running」を表示し、ホワイトバランス調整を行います。

DNR

デジタルノイズリダクションを設定します。
 Low, Middle, High, Extreme (出荷設定: Middle)
 Lowは、最も効果が弱い設定です。

Day&Night

カラー/白黒の切替えを設定します。
 Auto: 画面の明るさによりカラーモードと白黒モードを自動的に切替えます。(出荷設定)
 Color: カラーモード固定です。
 B/W: 白黒モード固定です。
 Auto+Terminal: AUTOモードで動作中に、白黒固定端子を制御することで白黒固定にするとともに設定します。

Profile切替えをDay&Nightの切替えタイミングで行う場合、Day&NightモードはAutoに自動設定されます。

Profile切替えをMode-SEL Terminalで行う場合、Day&Nightモードは、Auto+Terminalが選択できません。

Effect

カメラの画質関連を設定します。

Special

Motion Detection, Stabilizer, D-Zoom, Privacy Maskなどを設定します。

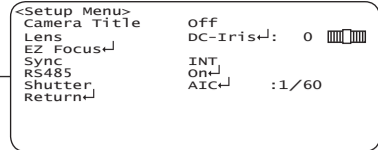
Exit

OSD設定画面終了時に、変更した設定を保存する/保存しないを設定します。
 Save: 設定を保存する。
 Not Save: 設定を無効にする。
 約2分間OSD操作をしない場合は、下記メニューを除き自動的にその時の設定を保存し、終了します。
 自動OFFしないメニュー画面はEZフォーカス調整画面、Videoアリスレンズ調整画面、Motion Detection画面、Privacy Mask画面、Test Pattern画面の5画面です。
 OSD画面を正常終了する前に、カメラの電源を切ると設定が正しく保存できない場合があります。
 「」: 記号は、MOSを押すことで、別画面および設定に移行することを示しています。

カメラ起動画面
 カメラは起動直後にカメラ初期化設定を行っているため、MOSが操作可能になるまでの間「Initializing...」文字を約5秒間表示します。

カメラ保存画面
 カメラは設定を保存するため、MOSが操作可能になるまでの間「Saving...」文字を約2秒間表示します。

1 セットアップ設定メニュー



Camera Title

設置場所などを表すタイトルを作成し、画面上に表示します。
 Off: タイトル表示OFFです。(出荷設定)
 On: 最大17文字まで設定できます。

Lens

レンズ選択と設定を行います。(CS型モデルの場合、背面パネル上のIRIS切替えスイッチ位置に連動してレンズ選択が変わります)
 DC-Iris: DCアリスレンズ選択時の明るさ設定です。
 -20~0~+20 (出荷設定: 0)
 Video: VIDEOアリス選択時にレンズ側のLEVELボリューム位置を必ず適切な位置の調整を必要とあります。画面表示にしたがって調整してください。(ドーム型モデルと電源重量モデルを除く)
 Manual: マニュアルレンズの時に選択します。

EZ Focus

イージー・フォーカス機能を使用し、簡単に最適なフォーカス調整を行います。

Sync

同期方式を設定します。(電源重量モデルを除く)
 INT: 常に内部同期 (Internal) で動作します。(出荷設定)
 LL: AC電源を入力時は電源同期 (LL) で動作し、DC電源入力時は内部同期 (Internal) で動作します。
 電源同期の前面同期位相を調整できます。
 調整範囲 (約360度): 0~524 Line (出荷設定: 0)

RS485

通信設定を行います。(通信機能搭載モデル)
 Off: 通信機能をOFFします。
 On: 通信機能が使用できます。(出荷設定)

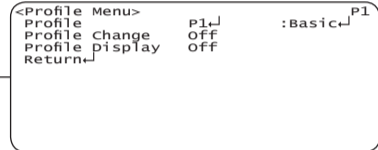
Shutter

電子シャッターを設定します。
 AES: 自動電子シャッターによる露出制御を行います。
 Flickerless: 1/100に固定されます。
 Fix: 固定シャッタースピードを設定できます。
 1/60 (WDRモード時固定), 1/100, 1/150, 1/200, 1/250, 1/500, 1/1000, 1/1500, 1/2000, 1/2500, 1/3000, 1/3500, 1/4000, 1/4500, 1/5000, 1/10000, 1/25000, 1/50000, 1/100000
 AIC: 電子シャッターとアリスのコントロールによる露出制御を行います。(出荷設定)
 1/60, 1/100, 1/150, 1/200, 1/250, 1/500, 1/1000, 1/1500, 1/2000, 1/2500, 1/3000, 1/3500, 1/4000, 1/4500, 1/5000, 1/10000, 1/25000, 1/50000, 1/100000 (出荷設定: 1/60 (WDRモード), 1/1000 (EDRモード))
 WDRモードは1/500までしか選択できません。

Return

上位メニューに戻ります。(以下同様のため省略します)

2 プロファイル設定メニュー



Profile

P1/P2: プロファイル選択設定は、プロファイルを切替えて使用するときのためにProfile1 (P1) とProfile2 (P2) があります。

プロファイルには、下記4つのモードとP1またはP2が選択できます。下表に各モードの設定内容 (初期値) を示します。

Basic: 標準モード (出荷設定)
 ENHNCD: カラー高感度モード
 Casino: カジノモード
 Sodium: ナトリウムモード
 P1: プロファイル2の時、プロファイル1の設定内容をコピーします。
 P2: プロファイル1の時、プロファイル2の設定内容をコピーします。
 Basic, ENHNCD, Casino, Sodiumモードを選択すると、カメラ設定データが自動的にプリセットデータに変更されます。また手動で各設定を変更し保存することが可能です。
 操作手順
 1) プロファイル (P1) を選択し、MOSを操作して右側のモード選択位置にカーソルが移動。設置環境に合ったモードを選択し、MOSを操作します。
 2) プロファイルを切替える場合は、P2も同様にモードを選択します。
 3) カメラ画質等変更が必要な場合は、Exposureやその他設定項目を設定します。
 4) プロファイルを切替える場合は、本メニュー内の「Profile Change」項目で切替え方法を選択します。
 5) プロファイル切替えの設定中、P1/P2のどちらのモードかを示すためにOSD表示でモード表示としてプロファイル2のとき「P2」を表示可能です。「P1」は表示しません。表示設定は、Profile DisplayメニューでOn/Off設定します。

Profile Change

プロファイルの切替えを設定します。
 プロファイル1とプロファイル2をDay&Nightで切替えるときは、必ずプロファイル1をColor設定、プロファイル2をB/W設定にしてください。

Off: プロファイルを切替えないときに設定します。(出荷設定)

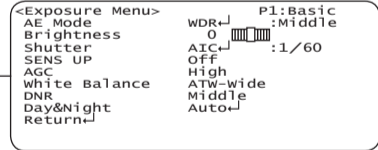
Day&Night: プロファイルをDay&Nightで切替えるときに設定します。
 MODE-SEL Terminal: プロファイルを外部端子で切替えるときに設定します。

Profile Display

プロファイルモードの表示を設定します。
 Off (表示しない), On (表示する) (出荷設定: Off)

プロファイル設定の初期値				
Profile	Basic	ENHNCD	Casino	Sodium
AE Mode	WDR モデル	WDR	Normal	WDR
	EDR モデル	EDR	Normal	EDR
SENS UP	Off	x 8	Off	Off
AGC	High	Middle	High	High
White Balance	ATW-Wide	ATW-Wide	AWB	ATW-Wide
	Middle	Extreme	Middle	Middle
Day&Night	Auto	Color	Color	Auto
Sodium 時の特別設定	Off	Off	Off	On

3 露出設定メニュー



AE Mode

カメラの露出モードを設定します。
 Normal: レンズ絞りと電子シャッターによる露出制御を行います。
 WDR: (WDR モデル): 屋内/屋外の混在するような明暗差の大きい被写体を撮像する場合などに使用します。ダブルシャッター方式のワイドダイナミックレンジモードです。(出荷設定)

露出制御時の重点露度レベルを設定します。Highが高露度部です。
 Low, Middle, High, Extreme (出荷設定: Middle)

EDR (EDR モデル): エクステンドダイナミックレンジモードで、デジタル処理によりダイナミックレンジを向上させます。(出荷設定)

逆光で暗くなった映像の補正量を設定します。
 Low, Middle, High, Extreme. (出荷設定: Middle)

BLC: 逆光補正モードを設定します。
 HLC: ハイライト補正モードを設定します。
 Defog: 自動的に露消し補正処理を行います。

各露出モードは、併用して使用することができません。
 各露出モードは、環境条件に連動して自動的に切替わることはありません。

Brightness

明るさを設定します。
 -20~0~+20 (出荷設定: 0)
 Setupメニュー内のレンズアリスレベルの明るさ設定と共通です。

Shutter: Setupメニューの説明を参照してください。

SENS UP

センサの蓄積時間を数フィールド行うことにより画面を明るくします。
 Off: 2, x 4, x 6, x 8, x 16, x 32, x 64, x 128, x 256, x 512 (出荷設定: Off)

被写体の明るさに応じて自動的に蓄積時間が変化します。

AGC

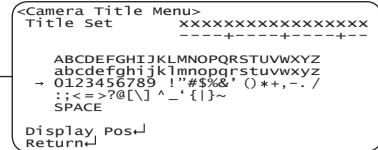
自動利得制御を設定します。
 Off (0dB), Low (12dB), Middle (18dB), High (26dB), Extreme (46dB) (出荷設定: High)

White Balance: Mainメニューの説明を参照してください。
 DNR: Mainメニューの説明を参照してください。
 Day&Night: Mainメニューの説明を参照してください。

ExposureメニューのWhite Balance, DNR, Day&Night設定は、Mainメニュー画面の設定項目と共通設定です。Mainメニュー上の設定を変更するとExposureメニュー上の設定も自動的に変更します。

裏面に移行します。

1-1 カメラタイトル設定メニュー



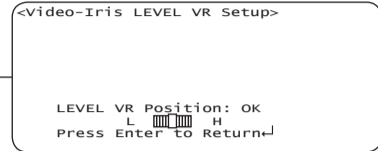
Title Set

タイトル入力エリア (最大17文字) です。表示したい文字にカーソルを合わせ、スイッチを押すことで設定します。(出荷設定: 全スペース)

「」 or 「」

選択が許可されている場所に表示します。
 Display Pos: カメラタイトル表示位置を設定します。

1-3 VIDEOアリスレンズ調整メニュー(ドーム型モデルと電源重量モデルを除く)



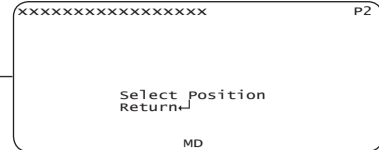
VIDEOアリスレンズのLEVELボリュームを画面表示に従って調整します。
 操作手順
 1) OSDメニューのLensからVideoを選択すると上記調整画面が開きます。
 2) 画面が暗い場合は、LEVELボリューム (VR) を時計方向に回す。

画面が明るい場合は、LEVELボリューム (VR) を反時計方向に回す。

3) 画面明るさが適切な場合「OK」表示になり、調整終了です。

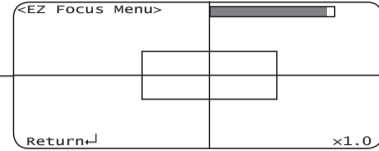
「OK」表示になるまで必ず調整してください。
 レンズのALC調整ボリュームは、必ずAverage (Av) 端に設定してください。
 照明によるちらつきのない明るい環境で、調整を行ってください。

1-2 カメラタイトル表示位置設定



カメラタイトル表示位置を設定します。この画面では、タイトル表示位置がProfile (P2) とモーションディテクション (MD) 表示に重ならないように設定してください。
 カメラタイトルの出荷設定は、文字設定していません。

1-4 EZフォーカス調整メニュー



EZフォーカス調整は、フォーカスアシスト機能を搭載しています。この機能は、簡単に最適なレンズフォーカス調整を行うために、フォーカスレベルバーの表示、画面のズーム倍率設定および輪郭強調を強くしています。

OSD画面を表示していない状態で、MOSを上方向に押し続けると、上記画面が開きます。または、OSDのMainメニューからSetup->EZ Focusメニューを選択しても開きます。

MOSを左右方向に押すと、ズームの倍率が変わり被写体が拡大されるので、調整や確認がしやすくなります。必要に応じて倍率を変更してください。

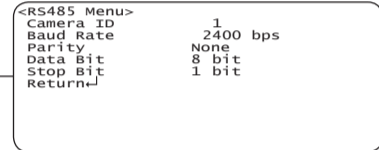
画面右上のフォーカスレベルバーは、フォーカス度合を示しています。フォーカスレベルバーの位置が最大となるようにレンズのフォーカスを調整する。または、被写体映像で最適位置に調整します。

2-1 プロファイル表示位置設定



プロファイル表示文字「P2」位置を設定します。「P2」の表示可能位置は、画面の上下計6か所から選択になります。
 カメラタイトルと同様に文字が重ならないようにしてください。

1-5 RS485通信設定メニュー (通信機能搭載モデル)



Camera ID

カメラを識別するための番号を設定します。
 1~240 (出荷設定: 1)

Baud Rate

外部機器との通信速度を設定します。
 1200 bps, 2400 bps, 4800 bps, 9600 bps, 19200 bps, 38400 bps (出荷設定: 2400bps)

Parity

パリティを設定します。
 None, Odd, Even (出荷設定: None)

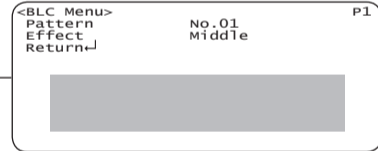
Data Bit

データ長は8 bit固定です。データ長は変更できません。

Stop Bit

ストップビットを設定します。
 1 bit, 2 bit (出荷設定: 1 bit)

3-1 逆光補正モードメニュー



Pattern

BLC機能の重点測光枠は、15種類の中から設置環境に最も近い測光枠を選択します。それぞれ測光枠を選択したときに画面上に枠表示しますので確認しやすくなっています。(出荷設定: No. 01)

Effect

効果量を設定します。
 Low, Middle, High (出荷設定: Middle)

3-2 HLC機能モードメニュー



Level

高露度映像の検出レベルを設定します。
 Low, Middle, High (出荷設定: High)
 Lowを設定している場合は、低い検出レベルになります。

Mask Brightness

高露度映像の検出レベル設定で、高露度検出された映像の明るさを置換します。
 Low, Middle, High (出荷設定: Middle)

3-3 ホワイトバランス設定の手動メニュー



マニュアルホワイトバランスの調整は、R/Bゲインを調整して行います。

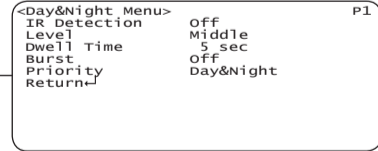
Red Gain

赤の色相を調整します。
 -50~0~+50 (出荷設定: 0)

Blue Gain

青の色相を調整します。
 -50~0~+50 (出荷設定: 0)

3-4 デイナイト設定メニュー



IR Detection

赤外光照明の使用下で発生するハンチング(カラーと白黒モードの切替えを繰り返す現象)を防止する機能です。メカニカルDay&Nightカメラを赤外光照明下で使用する場合は、On設定にしてください。
 Off, On (出荷設定: Off)

メカニカルDay&Night搭載モデル

Level

カラーと白黒切替えの明るさを設定します。
 Low, Middle, High (出荷設定: Middle)

Dwell Time

カラーと白黒を切替えるための判定時間を設定します。
 3 sec, 5 sec, 10 sec, 30 sec, 60 sec, 3 min, 5 min (出荷設定: 5 sec)

Burst

B/W (Nightモード) 切替え時のバースト信号有無を設定します。
 Off: バーストなし, On: バーストあり (出荷設定: Off)

Priority

Day&NightとSENS UPを併用して動作させる場合はどちらかを先に動作させるための設定ができます。

Day&Night: 低照度まで動き重視する場合に設定します。(出荷設定)
 SENS UP: 低照度までカラー映像を優先する場合に設定します。

SENS UPの倍率を上げると、画面がざらついたり、白っぽくなったり、白飛びが現れる場合がありますが、異常ではありません。

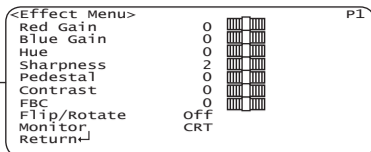
3-5 デイナイト設定メニュー (白黒固定)



Burst

B/W (Nightモード) 切替え時のバースト信号有無を設定します。
 Off: バーストなし, On: バーストあり (出荷設定: Off)

4 効果設定メニュー



Red Gain
カメラ映像の色レベルを調整 (赤系) します。
-50 ~ 0 ~ +50 (出荷設定: 0)

Blue Gain
カメラ映像の色レベルを調整 (青系) します。
-50 ~ 0 ~ +50 (出荷設定: 0)

Hue
カメラ映像の色合いを調整します。
-50 ~ 0 ~ +50 (出荷設定: 0)

Sharpness
画像の鮮明さを強調する輪郭強調を調整します。
0 ~ 2 ~ 4 (出荷設定: 2)

Pedestal
映像の黒レベルを調整します。
-10 ~ 0 ~ +10 (出荷設定: 0)

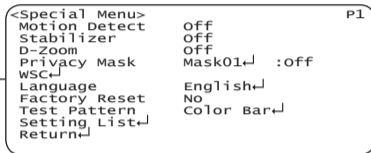
Contrast
映像のコントラストを調整します。
-2 ~ 0 ~ +2 (出荷設定: 0)

FBC
黒レベルの補正を設定します。
-1, 0, +1 (出荷設定: 0)

Flip / Rotate
画像出力の反転を設定します。
Off: 正像表示です。(出荷設定)
V-Flip: 垂直反転画像を表示します。
H-Flip: 水平反転画像を表示します。
Rotate: 水平垂直の反転画像を表示します。

Monitor
接続モニタを設定します。標準は CRT モードですが、使用モニタおよび接続機器の輝度のダイナミックレンジが高くない場合は、LCD モードに切替えてください。
CRT, LCD (出荷設定: CRT)

5 特殊設定メニュー



Motion Detect
動作検知を設定します。
Off (無効), On (有効) (出荷設定: Off)

Stabilizer
カメラを揺れが発生しやすい場所に設置したときに発生する揺れ補正 (Digital Image Stabilizer) を設定します。
Off (無効), On (有効) (出荷設定: Off)
ON 設定時は、画角が狭くなり (約 10%)、且つ解像度も低下します。
下記の条件などでは、画像揺れ補正が効かないことがあります。暗い被写体、明暗差が少ない画像、揺れ速度が速い画像、揺れ幅の大きい画像。

D-Zoom
電子ズームを設定します。
Off (無効), On (有効) (出荷設定: Off)

Motion Detect, Stabilizer, D-Zoom を併用して使用することができません。

Privacy Mask
プライバシーマスクを設定します。
Mask01 ~ Mask16: 最大 16 個まで設定可能です。
(出荷設定: Mask01)
Off: マスク設定が無効です。(出荷設定)
P1: プロファイル 1 モードで設定します。
P2: プロファイル 2 モードで設定します。
P1&P2: プロファイル 1 と 2 両方のモードで設定します。

WSC (White Spot Correction)
白傷を検出および補正を行います。
OK-End: 正常に補正処理を終了したときに表示します。
NG-End: 補正処理を異常終了したときに表示します。このときには、遮光状態を再度確認後に再度補正処理を行ってください。
本機能を実行しても、完全に白傷が補正できるものではありません。
SENS UP 機能をご使用時には白傷が発生しますが、異常ではありません。

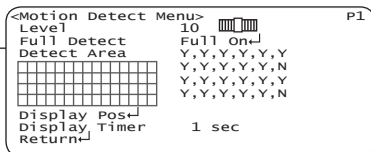
Language
OSD (設定画面) で表示する言語を設定します。
English: 英語を選択します。
ESPAÑOL: スペイン語を選択します。
FRANÇAIS: フランス語を選択します。
PORTUGUÊS: ポルトガル語を選択します。

Factory Reset
工場出荷時の設定内容に戻します。
No: 出荷設定に戻さない場合に選択します。
Yes: 出荷設定に戻す場合に選択し、スイッチを押します。

Test Pattern
4 種類のテストパターンの中から出力選択できます。
Color Bar, Gray Scale, Center Cross, Crosshatch
(出荷設定: Color Bar)

Setting List
設定内容の一覧を表示します。

5-1 動作検知設定メニュー (感度設定)



1 画面を 24 分割してブロックごとに、輝度情報と隣接するブロックとの輝度変化 (動き) を検知したときに、アラームとして画面上に文字 (MD) 表示します。
動く被写体の大きさは、1/24 ブロック以上必要です。
動く被写体のコントラスト比が小さいものや、速いスピードのものによっては検知できないものがあります。

Level
動作検知する感度を設定します。
1 ~ 10 (出荷設定: 10)
動作検知された位置が赤色枠で表示します。(白黒モードでは灰色枠で表示します)

Full Detect
画像全域の検知を設定します。
Full Off (解除), Full On (有効) (出荷設定: Full On)

Detect Area
検知エリアを個別設定します。
Y, Y, Y, Y, Y, Y
Y, Y, Y, Y, Y, N N: OFF 設定
Y, Y, Y, Y, Y, Y Y: ON 設定
Y, Y, Y, Y, Y, N

Display Pos
動作検知後に表示される文字 (MD) の表示位置を設定します。
表示位置は 6 箇所から選択します。

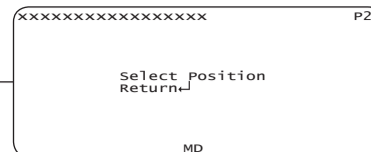
Display Timer
動作検知時の文字表示時間を設定します。
1 sec, 5 sec, 10 sec, 30 sec, 60 sec, 10 min (出荷設定: 1 sec)

5-2 動作検知設定メニュー (検知位置設定)



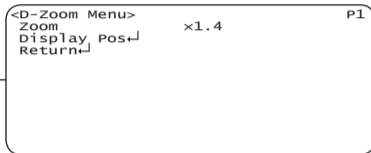
検知設定したエリアは、設定メニューと同時に灰色で表示されますので、適切な位置であるかどうか確認できます。

5-3 動作検知表示位置設定 Setting



動作検知時の「MD」文字の表示位置を設定します。「MD」の表示可能位置は、画面の上下計 6 か所から選択になります。MD の表示色は、カラー時: 赤色、白黒時: 白色となります。白黒時のバーストを ON 設定した場合は、白黒でも MD 文字は赤色になります。

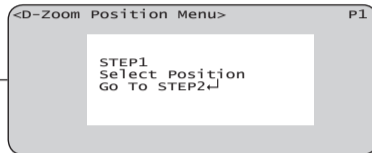
5-4 電子ズーム設定メニュー



Zoom
電子ズームの倍率を設定します。
x 1.4, x 2.0, x 2.8, x 4.0, x 5.6, x 8.0, x 11, x 16 (出荷設定: x 1.4)

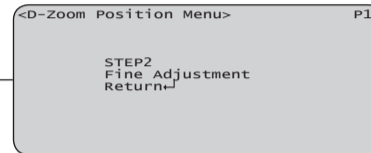
Display Pos
電子ズームの表示位置を設定します。

5-5 電子ズーム表示位置設定メニュー (STEP1: 粗調整)



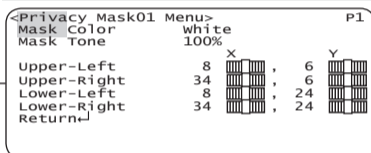
電子ズーム時のフレーム位置を設定します。(STEP1) フレーム外の映像は、青色で表示しています。

5-6 電子ズーム表示位置設定メニュー (STEP2: 微調整)



電子ズーム時のフレーム内画像を全画面に拡大していますので、フレーム位置を微調整します。(STEP2)

5-7 プライバシーマスク 01 メニュー



Mask Color
マスク色を設定します。
White, Yellow, Red, Blue, Orange, Green, Pink, Purple, Gray, Black, Mosaic (出荷設定: White)

Mask Tone
マスク色の透明度を設定します。
100%, 75%, 50%, 0% (出荷設定: 100%)

撮影画面の中で、映したくない部分がある場合、マスクングによって表示しないように設定します。最大 16 個まで設定可能です。(出荷設定: Mask01)

Mask Color
マスク色を設定します。
White, Yellow, Red, Blue, Orange, Green, Pink, Purple, Gray, Black, Mosaic (出荷設定: White)

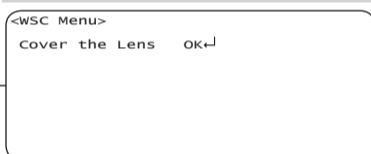
Mask Tone
マスク色の透明度を設定します。
100%, 75%, 50%, 0% (出荷設定: 100%)

マスク作成手順

- 1) 特殊設定画面にてマスク番号を選択後、表示するプロファイルを選択します。
- 2) マスク番号を押すと、プライバシーマスク設定画面を開きます。
- 3) プライバシーマスク設定画面でマスク色 / トーン設定後にマスク位置を設定します。
- 4) マスク位置を X 軸 (画像) と Y 軸 (ライン) で設定します。

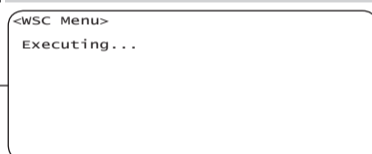
項目	X 軸 (画像)	Y 軸 (ライン)	内容
Upper-Left	0 ~ 118 ~ 238	0 ~ 60 ~ 122	左上マスク位置を設定します。
Upper-Right	0 ~ 118 ~ 238	0 ~ 60 ~ 122	右上マスク位置を設定します。
Lower-Left	0 ~ 118 ~ 238	0 ~ 60 ~ 122	左下マスク位置を設定します。
Lower-Right	0 ~ 118 ~ 238	0 ~ 60 ~ 122	右下マスク位置を設定します。

5-8 白傷補正設定メニュー



Cover the Lens
白傷補正を適切に行うために、できるだけ暗い環境で行うか、レンズカバー等を用いてレンズを遮光してください。
OK: レンズカバーで黒画像になったときに選択し、スイッチを押します。
Cancel: 白傷補正を行わない場合に選択し、スイッチを押します。

5-9 白傷補正設定メニュー (実行開始画面)



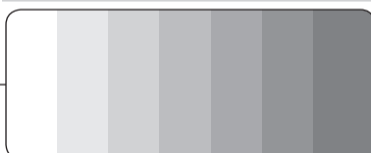
Executing...
白傷補正開始時に表示します。(白傷補正中は OSD 表示しません)

5-10 白傷補正設定メニュー (確認画面)



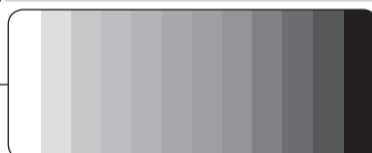
白傷補正が終了したら、約 1 秒間 OSD 表示しない白傷確認画面を表示しますので、この時に白傷発生有無を確認してください。約 1 秒後は、自動的に特殊設定画面に戻ります。

5-11 テストパターン出力設定 (カラーバー)



4 種類のテストパターンの中から出力選択できます。
Color Bar, Gray Scale, Center Cross, Crosshatch
(出荷設定: Color Bar)

5-12 テストパターン出力設定 (グレースケール)



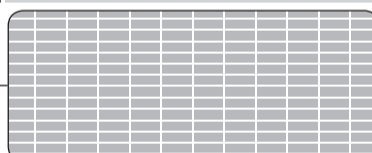
4 種類のテストパターンの中から出力選択できます。
Color Bar, Gray Scale, Center Cross, Crosshatch
(出荷設定: Color Bar)

5-13 テストパターン出力設定 (十字)



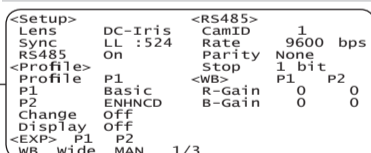
4 種類のテストパターンの中から出力選択できます。
Color Bar, Gray Scale, Center Cross, Crosshatch
(出荷設定: Color Bar)

5-14 テストパターン出力設定 (ハッチパターン)



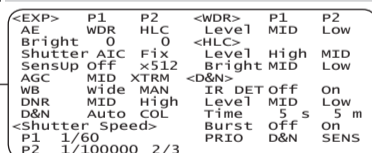
4 種類のテストパターンの中から出力選択できます。
Color Bar, Gray Scale, Center Cross, Crosshatch
(出荷設定: Color Bar)

5-15 設定内容確認一覧メニュー (1/3)



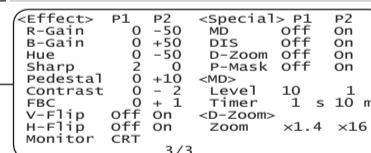
各設定項目の一覧を 3 ページで表示します。表示文字は、短縮文字で表示しています。(設定モードにより表示する項目が変わります)
OSD 画面を表示していない状態で、MOS を右方向に押し続けると、上記画面が開きます。または、OSD の Main メニューから Special -> Setting List メニューを選択しても開きます。
この画面からは、設定変更できません。

5-16 設定内容確認一覧メニュー (2/3)



各設定項目の一覧を 3 ページで表示します。表示文字は、短縮文字で表示しています。(設定モードにより表示する項目が変わります)
OSD 画面を表示していない状態で、MOS を右方向に押し続けると、上記画面が開きます。または、OSD の Main メニューから Special -> Setting List メニューを選択しても開きます。
この画面からは、設定変更できません。

5-17 設定内容確認一覧メニュー (3/3)



各設定項目の一覧を 3 ページで表示します。表示文字は、短縮文字で表示しています。(設定モードにより表示する項目が変わります)
OSD 画面を表示していない状態で、MOS を右方向に押し続けると、上記画面が開きます。または、OSD の Main メニューから Special -> Setting List メニューを選択しても開きます。
この画面からは、設定変更できません。